

働き方改革アクションプラン

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------------|
| 会社名 | 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 | 従業員数 | ②1,000人～4,999人 |
|-----|--------------------|------|----------------|

① 長時間労働の是正（KPI）

- 2016年度より3ヵ年計画で「長時間労働者を“ゼロ”」にする取組み継続中。
 - ◎ 具体的項目
 - ① 「36協定違反者」を“ゼロ”にする（法令順守の徹底）
 - ② 「裁量制等のみなし労働時間制対象者や管理職も含め、月間80時間を超える時間外勤務」を“ゼロ”にする（健康管理の徹底）
- 2018年度までに柔軟な勤務を推進し、月間平均残業時間を14時間にする

① 長時間労働の是正（行動計画）

- ✓ 経営トップのメッセージ発信
- ✓ 朝型勤務の徹底（原則退社時刻の設定含む）
- ✓ 効率的な働き方を推進する制度とシステムの導入、支援施策の実施
- ✓ ペーパーレス化の推進、会議の見直し、会議システム変更
- ✓ 個々人の残業削減に関する目標の設定と、MBO評価を通じた賞与支給

支援施策の一例



■ 退社時間見える化カードの導入（2016年11月～）

目的：自律と協働に不可欠な「コミュニケーションの促進」を職場環境の面からサポートし、働き方改革の新しい仕組みを更に活用しやすくする。

また、自らの業務時間を提示することにより、業務の効率化にも繋げる。

対象者：派遣社員を含む、全従業員



働き方に応じて合計20枚のカードを用意

専用のカードケース

働き方改革アクションプラン

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------------|
| 会社名 | 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 | 従業員数 | ②1,000人～4,999人 |
|-----|--------------------|------|----------------|

②年休の取得促進（KPI）

- 全社員の取得率を70%以上にする

②年休の取得促進（行動計画）

- ✓ 計画的取得の推奨（計画シートの配布）
- ✓ 夏季・冬季の連続休暇取得奨励期間の設定
- ✓ 『サンドイッチ休暇』『記念日休暇』の設定および取得奨励
- ✓ 定期的レビューによる取得実績／進捗の経営層を含めた共有
- ✓ 「プレミアムフライデー」を「働き方変革チャレンジデー」と位置づけ、『計画的な有給休暇取得にチャレンジ』することを推奨

『サンドイッチ休暇』

対象日：飛び石連休の中日

目的：飛び石連休の中日に、積極的に有休取得することで、計画的な連続休暇を産み出し、充実したプライベートの時間を確保するとともに、心身ともにリフレッシュし、その後の効率的な業務遂行につなげる

『記念日休暇』を設定し、年2日以上取得を奨励

期間：通年

対象日：取得する本人や家族（親・配偶者・子など、範囲は問わない）の誕生日、結婚記念日など、取得する本人にとって祝うべき記念日に取得する年次有給休暇

※上司や同僚は『記念日』を尊重し、取得できるよう支援・協力すること

働き方改革アクションプラン

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------------|
| 会社名 | 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 | 従業員数 | ②1,000人～4,999人 |
|-----|--------------------|------|----------------|

③柔軟な働き方の促進（KPI）

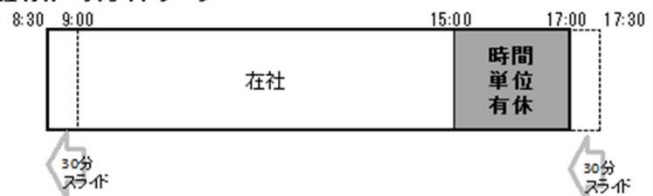
- 2018年度何らかの柔軟な勤務を実施した人の割合 80%以上
※目標設定対比実績：65%（2016年度）

③柔軟な働き方の促進（行動計画）

- ✓ 社内業務効率化のためのルールの見直し
- ✓ システム化を中心としたペーパーレスと電子承認の仕組み作り
- ✓ システムおよび制度におけるテレワーク環境整備
- ✓ 社内報等における意識啓発と好事例の展開
- ✓ テレワーク・デイズのような機会の活用による意識啓蒙
- ✓ 「プレミアムフライデー」を「働き方変革チャレンジデー」と位置づけ、『制度を活用して早帰りにチャレンジ』することを推奨

（活用例）

<時間単位有休+スライドワーク>



「CTCにおける柔軟な働き方に寄与する制度」

- 朝型勤務
- スライドワーク
- 時間単位有休
- テレワーク（モバイルワーク、在宅勤務）